

「2024年韓国・延世大学校スプリングスクール派遣報告書」

京都大学文学部2年 三原 敏暉

① 学習成果

今回、スプリングプログラムとして韓国の延世大学語学堂での留学を経験しました。この留学に参加する前私は韓国語の学習に興味を持ちながらも実際に現地で使用する機会もなく大学の第二外国語で朝鮮語を選択しはしましたが会話能力はおろか文法にも自信がありませんでした。しかし留学を通じて実際のコミュニケーションの場面で韓国語を積極的に使用することが求められた結果、私の朝鮮語の能力は飛躍的に向上したと自身をもって言えます。また単に言語を学ぶだけでなく韓国の文化や歴史への理解も深まり、国際的な視野も以前よりは持てたと思います。

この短期留学に参加し、個人的な海外留学に対する意欲が高まりました。特により長期間の留学を通じて韓国語の運用能力をさらに向上させつつ学術的な分野での研究活動を行うことにも興味をもっています。

② 海外での経験

延世大学語学堂での学習は様々な国籍の学生がいることから語学だけでなく多文化共生の重要性を実感する機会を持てる場でもありました。クラスメートの学生は世界各国からの留学生が集まっており異なるバックグラウンドを持っていたので彼らとの交流を通じて異文化理解の大切さを実感するとともに異なる価値観を間近で感じる事ができとても新鮮でした。

また韓国の日常生活を体験するセミナーにも参加することができ、日本とは異なる文化や社会のあり方について深く考えるようになりました。

③ プログラム内容

本プログラムでは、主に韓国語の授業を受けました。授業は全て韓国語で行われリスニングとスピーキングのものがすぐにやった文法事項を即実践的に用いる能力が求められとても苦労しました。また現地の学生との交流イベントや、韓国の伝統文化を体験するプログラムも充実しており実践的な学習機会が多く提供されました。

④ 進路への影響

今回の留学経験で私の将来の進路選択を考えるうえで非常に大きな材料となりました。英文学専修であることもあり、もともと国際関係や異文化交流への関心は高かったのですが、実際に韓国で生活し現地の学校で学ぶことその関心がより具体的なものとなりました。将来的には国際的な環境で韓国語を活かせる生き方をしたいと考えようになりました。

<日韓関係のセミナーをうけて>

I attended a lecture on Japan-Korea relations from the Meiji era to the present. The lecture provided a comprehensive overview of the historical, political, and cultural interactions between the two nations. I found it particularly insightful to learn about the complex history, including colonial rule, post-war diplomacy, and contemporary issues such as trade disputes and cultural exchanges.

One of the most striking aspects was understanding how historical events continue to shape present-day relations. The discussion on reconciliation efforts and ongoing tensions highlighted the challenges of overcoming historical grievances while fostering cooperation. It made me reflect on the importance of mutual understanding and diplomacy in international relations.

<事務局使用欄> 受付番号 :

-

Overall, the lecture deepened my appreciation for the intricacies of Japan-Korea relations and emphasized the need for continuous dialogue and collaboration to build a more constructive future.